

## 令和4年度 第1回横須賀市立小中学校適正配置審議会 会議録

1 日 時 令和4年(2022年)5月23日(月)16:00~17:05

2 場 所 市役所5階 正庁

3 出席委員 委員 出石 稔  
委員 上田 滋  
委員 黒川 理美  
委員 櫻井 聡  
委員 外川 翔大  
委員 藤枝 聡  
委員 宮田 丈乃

4 事務局 教育長 新倉 聡  
教育総務部 部長 古谷 久乃  
学校教育部 部長 米持 正伸  
教育政策課 課長 飯田 達也  
教育政策課 主査 大堀 圭輔  
教育政策課 担当者 丸山 昇悟  
教職員課 課長 平石 拓  
学校管理課 課長 二見 裕  
教育指導課 課長 川上 誠  
支援教育課 課長 小谷 亜弓

5 傍聴者 5名

## 6 議事内容

### ○飯田教育政策課長（事務局）

皆さま、こんにちは。定刻となりましたので令和4年度第1回横須賀市立小中学校適正配置審議会を始めます。

開催する前に、傍聴および会議録について確認します。横須賀市立小中学校適正配置審議会は、「横須賀市立小中学校適正配置審議会の傍聴に関する実施要領」に基づいて、傍聴を認めています。また、会議録については公開します。会議録作成のために、録音します。

委員の皆さま、よろしいでしょうか。

《 委員から異議なしの声 》

### ○飯田教育政策課長（事務局）

それでは、傍聴の方は、入室ください。

#### （1）委嘱状交付

今回が第1回ということで、横須賀市教育委員会教育長の新倉から委員の皆様へ委嘱状を交付します。

委嘱状は、委員お一人ずつにお渡しします。交付の際、事務局からお名前をお呼びしますので、その場で、お立ちください。

《 新倉教育長から各委員へ委嘱状を交付 》

#### （2）教育長あいさつ

続きまして、教育長の新倉からごあいさつ申し上げます。

### ○新倉教育長（事務局）

皆さま、こんにちは。教育長の新倉です。令和4年度第1回横須賀市立小中学校適正配置審議会の開会にあたり、ごあいさつを申し上げます。ただいま、委員の皆さまに委嘱状をお渡ししましたが、ご多忙の中、委員をお引き受けいただき、誠にありがとうございます。任期は2年となっていますが、その間、どうぞよろしくお願ひします。

横須賀市立小中学校適正配置審議会は、教育環境のより適正な整備を図るため、市立小中学校の配置に関し、教育委員会の諮問に応じるための附属機関として条例で設置しています。

このたび、令和4年3月に策定した「横須賀市教育環境整備計画」に基づき、市立小中学校の教育環境整備の推進に係る方策等についてご審議いただきたく、開催する運びとなりました。

これまでの横須賀市におきまして、小中学校の統合を行って参りましたが、小規模な学校を大規模な学校が吸収するという単純な方向での開催となってきました。私の就任以来、児童生徒数の減少が直近の大変な課題だと考えていますが、これらを考えていくためには、小規模校を大規模校にということでは済むのかということが課題となってきたところです。

昨年の児童生徒数の推計を見ましても、令和3年度には小中学生が26,125人だったものが、令和9年度には、21,875人と4,250人の減少を見込んでいます。率にしますと、16.3%の子どもたちがいなくなる見込みです。

このような中では、小規模校を大規模校が吸収するだけでは、地域が成り立っていかないのではないかと認識をしています。

一方では、急傾斜地区におけるレッドゾーンという課題が出てきて、現在地で学校を建て替えることは、大変難しい問題だと考えています。

逆に言いますと、小規模の人数の学校だけれども、大規模な学校が建て替えられなければ、大きいほうが小さいほうに動かなければ、地域の学校運営ができないのではないかとすることを想定してきました。

地域ごとの課題が変わってきますので、それぞれの地域の特性に応じた適切な将来像を描いていただくことが重要になるかと思っています。これからの未来の子どもたちの教育環境をどのようにしていったらよいかという観点でぜひ検討を進めていただき、今回諮問させていただき、各地域について、様々なご意見を聞いたうえで、委員の忌憚のない検討案をお作りいただければと思っています。

どうぞ先生方のお力をお貸しいただければと思いますので、よろしく申し上げます。

### (3) 委員紹介

#### ○飯田教育政策課長（事務局）

続きまして、本日が第1回の横須賀市立小中学校適正配置審議会となりますので、委員の皆様を事務局から紹介します。座席の順にお名前をお呼びします。

《 委員7名を紹介 》

委員の皆様、ありがとうございました。

続きまして、教育委員会事務局の出席者を紹介します。

《 事務局 10 名を紹介 》

#### (4) 委員長・職務代理者選出

##### ○飯田教育政策課長（事務局）

資料 1 の「横須賀市立小中学校適正配置審議会条例」をご覧ください。この条例は、横須賀市立小中学校適正配置審議会の設置や運営などについて規定しています。この条例に基づき、運営します。

条例では、資料の中程になりますが、「第 3 条第 1 項」で「審議会に委員長を置き、委員が互選する。」と規定しています。

また、第 2 項で「委員長は、会務を総理し、会議の議長となる」と規定していますので、委員長選任後は、委員長に会議の進行をお願いすることになります。

そのため、まず委員の皆様の中から、委員長をお選びいただきたいと思いますが、どなたかご意見はありますか。

##### ○黒川委員

会議の進行などを考慮すると、多くの会議等のご経験もある出石稔委員に委員長をお願いするのが良いのではないかと思います。いかがでしょうか。

##### ○飯田教育政策課長（事務局）

黒川委員から出石委員のご指名がありましたが、皆さまいかがでしょうか。

《 委員から異議なしの声 》

出石委員いかがでしょうか。

##### ○出石委員

承りました。

##### ○飯田教育政策課長（事務局）

恐れ入りますが、出石委員は、委員長席へ移動をお願いします。

出石委員長、一言ごあいさつ頂けますでしょうか。

##### ○出石委員長

それでは改めまして、委員長としてご指名をいただきました、出石でございます。私の専門は、行政法や地方自治です。もちろん教育行政もその中に含まれます。円滑な進进行を心がけたいと思います。皆様のご協力を得て進めてまいりたいと

思いますので、よろしく申し上げます。

○飯田教育政策課長（事務局）

委員長ありがとうございました。続いて、「条例第3条3項」に「委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代理する」とありますので、出石委員長から指名をいただければと思いますが、委員長いかがでしょうか。

○出石委員長

職務代理者として、学識委員である藤枝委員にお願いしたいと思います。

○飯田教育政策課長（事務局）

藤枝委員いかがでしょうか。

○藤枝委員

謹んでお受けいたします。

○飯田教育政策課長（事務局）

恐れ入りますが、藤枝委員は、委員長職務代理者席へ、移動をお願いします。藤枝委員、一言ごあいさつ頂けますでしょうか。

○藤枝委員

改めまして、立教大学の藤枝と申します。どうぞよろしく申し上げます。

立教大学の職員として、様々な仕事をしていますが、関連するところとしては、大学と社会の連携、学校との連携です。横須賀市立小中学校適正配置審議会で扱うテーマは真剣に取り組むべき内容であり、全力を尽くしてまいりたいと考えています。

横須賀市との関わりでは、これまで行政改革推進委員としてお手伝いをさせていただいた経験もございます。円滑な会議の進行にご助力できるよう、頑張りたいと思いますので、どうぞよろしく申し上げます。

（5）諮問

○飯田教育政策課長（事務局）

ただいまから、横須賀市立小中学校適正配置審議会でご審議いただく内容についての諮問書を、新倉教育長より出石委員長にお渡しします。

○新倉教育長（事務局）

《 新倉教育長から出石委員長へ以下の諮問書を交付 》  
「田浦地域における市立小中学校の教育環境整備の推進について」  
「走水・馬堀地域における市立小中学校の教育環境整備の推進について」

○飯田教育政策課長（事務局）

新倉教育長につきましては、他の公務の関係で、ここで退席します。

ただいま、お渡しした諮問書の写しをお配りします。

《 各委員へ諮問書写しを配布 》

それでは、本日の議事を進める準備が整いましたので、改めて令和4年度第1回横須賀市立小中学校適正配置審議会を開催します。

「横須賀市立小中学校適正配置審議会条例」第4条第2項の規定により、開催にあたっては、半数以上の委員の出席が必要となりますが、本日は、委員7名全員が出席されていますので、横須賀市立小中学校適正配置審議会は成立しています。

（6）議事

それでは、これより進行を出石委員長にお願いして、議事を進めていただきます。出石委員長よろしく申し上げます。

○出石委員長

それでは次第の6、議事に入ります。事務局から説明をお願いします。

○大堀教育政策課主査（事務局）

《 資料3、4-1、4-2に基づき事務局から説明 》

○出石委員長

今回は現状の確認ということで、具体的な適正配置の検討は次回になるかと思いますが、今の説明について、確認事項や質問、ご意見がありましたら承りたいと思います。田浦地域と走水・馬堀地域のどちらでも結構ですので、ご発言の方は挙手をお願いします。

### ○櫻井委員

保護者としては、通学にどの程度時間がかかるのか、通学距離や時間に対するケアがされているかというところが一番聞きたいところだと思います。そこはぜひ検討していきたいと思います。

### ○出石委員長

今の段階で田浦地域と走水・馬堀地域の通学について、事務局で考えていることはありますか。

### ○大堀教育政策課主査（事務局）

横須賀市教育環境整備計画の推進については、子どもたちの安全安心という観点からも検討していきます。通学距離が遠距離になるということであれば、通学上、安全安心が保てるか検討する必要があると考えています。

地域ごとに状況が異なりますので、いろいろな意見を伺い、地域の実情を勘案しながら検討していきたいと思います。

### ○外川委員

私自身も教員であり、1クラスに一定数の児童がいることは、子どもの学びや成長に必要不可欠だと思います。令和4年度の走水小の1年生は男1人、女2人で、このまま6年間過ごして、馬堀中に進学したときに、この3人がどうなるのか心配です。

例えば、体育や子どもたちが話し合っ問題の解決に導く授業では、いろいろな子ども同士の関わりが求められます。あまりにも児童数が少ない状況においては、子どもの成長を危惧しています。

### ○出石委員

このような課題は、三浦半島全体の傾向なのでしょうか。近隣の他都市の状況も参考になると思います。

諮問の中に専門的かつ幅広い見地からとありますが、かなり築年数が経過している学校があります。複数の学校が統合して、既存の学校に集約するのが一番やりやすい方法だと思います。建て替え状況や通学の利便性も考えて、新たな敷地を取得し、建て替え等をするのも方策として考えているのか、この方策が良いのか、今の段階で考えがあれば教えてください。

#### ○大堀教育政策課主査（事務局）

現在、三浦市でも検討をしている状況であると把握しています。

横須賀市の進め方としては、地域の意見を伺いながら、意見を吸い上げたうえで、委員の皆様へ報告し、ご審議いただきたいと思っております。

新たな場所での建て替え等の方策は、場所があれば方策の一つとして考えられますが、地域ごとにどのような配置が望ましいのかを踏まえて地域ごとに検討します。

#### ○宮田会長

保護者の意見を参考にするため、統廃合についてのアンケートなどは考えていますでしょうか。

#### ○大堀教育政策課主査（事務局）

現時点でアンケートをとるかは決めていません。それぞれの地域別小中学校教育環境整備検討協議会を開催し、意見を伺い、地域からのご要望があれば、地域の皆さんの意見を吸い上げる一つの方策として考えられます。地域ごとに対応していきたいと思っております。

#### ○外川委員

三浦半島地区教職員組合は、横須賀市、三浦市、葉山町、逗子市、それぞれの教員が集まって組合活動をしています。状況を見ると、広い見地から、さまざまなデータを出すと非常に話がしやすいと思います。地域に話をする際は、丁寧にやっていく必要があると考えています。

#### ○櫻井委員

自分の子どもの在籍校で統廃合の話が出たことがあり、以降、入学者数が減少したことがあります。保護者は、自分の子どもが卒業するまで同じ学校に通学できるのか、猶予がどのくらいあるのかを一番知りたいと思っております。

小学校は地域活動の中心であるため、町内会への説明も重要であると考えています。

#### ○藤枝委員長職務代理者

各地域別小中学校教育環境整備検討協議会をどのように進めて、地域の方々の声を吸い上げていくのか、市の考えを聞きたいです。

#### ○大堀教育政策課主査（事務局）

第1回の地域別小中学校教育環境整備検討協議会では、基本情報や地域の状況、課題等を説明し、共有を図っていきたいと考えています。地域の方々の懸案や心配ごとがあると思いますので、まずは、ご意見を出していただき、懸案事項等に対する対応策等をこちらからご提案し、検討を進めていきたいと考えています。

#### ○出石委員

地域別小中学校教育環境整備検討協議会の傍聴を希望する委員がいる場合、傍聴が認められるのか確認させてほしいです。

#### ○大堀教育政策課主査（事務局）

委員の傍聴は可能です。

#### ○出石委員

地域別小中学校教育環境整備検討協議会の日時・場所を委員にお知らせください。また、委員は定員に関わらず傍聴できると助かります。

#### ○大堀教育政策課主査（事務局）

第1回田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会は、令和4年5月26日（木）19時から長浦コミュニティセンターで、第1回走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会は、令和4年5月30日（月）19時から、大津コミュニティセンターで開催します。

委員の傍聴については、定員に関わらず傍聴できます。

#### ○出石委員

横須賀市立小中学校適正配置審議会、地域別小中学校教育環境整備検討協議会の全体のスケジュール感があればお話しいただけますでしょうか。

#### ○大堀教育政策課主査（事務局）

先ほど申し上げた日程で第1回の地域別小中学校教育環境整備検討協議会を開催し、第2回以降に具体的な検討をしたいと考えています。今年度に計5回、1～2カ月に1回程度の開催を考えています。

横須賀市立小中学校適正配置審議会については、地域別小中学校教育環境整備検討協議会の検討状況等を報告し、進捗状況によっては、中間報告も含めて、今年度に3回程度の開催を考えています。

### ○出石委員長

予定で構わないので、全体のスケジュール案を各委員にスケジュール表を後日お送りいただけますでしょうか。

### ○大堀教育政策課主査（事務局）

進捗状況にもよりますが、大まかなスケジュール案を作成して提示したいと思えます。

### ○上田委員

横須賀市連合町内会の代表として出席させていただいています。校舎の築年数が70年近い学校がある中で、このまま統合せずに存続することは、難しいと思えます。

各地域を別々に考えていたら進まないと思えます。田浦地域全体でもう一度考え直して、今後、減少していく子どもたちの教育を考え直して、みんなでどうしたら一番いいのかを考える必要があると思えます。

現実として、すぐに新たな土地に建てられないのであれば、どこであれば建てられるのかを考え、耐用年数に迫っている学校は、地域にとって一番良い方法をみんなで考えて対応すべきだと思えます。

レッドゾーンの対応等については、十分に説明をして、地域の方々と一緒に考えてほしいと思えます。

### ○黒川委員

各学校の校長がどのような見解を持っているのか、伺いたいと思えます。

### ○出石委員長

このような議論は、大体、総論賛成、各論反対となると思えます。地域別小中学校教育環境整備検討協議会の場合では、必ずしも意見が一致しないことも考えられます。

このままの状況では、教育上好ましくなく、財政面の問題もあると思えます。持続可能な学校教育を進めていくためには、ある程度の反対があることも踏まえつつ、その中でどう進めていくかが問題となります。

教育委員会、あるいは市としてどうしていくのか、非常に重要な問題だと思えます。

田浦地域と走水・馬堀地域はモデルケースとなり、今後も続いていくため、まとめあげて、成功体験となるよう、委員の皆さんと一緒に建設的に進めていきたいです。

今日出された質問や要望、意見を事務局でまとめて、次回の資料として出していきたいと思えます。また、地域別小中学校教育環境整備検討協議会の意見もまとめて、示していただきたいと思えます。

本日の議事は以上とさせていただきます。

**○飯田教育政策課長（事務局）**

事務局から連絡事項についてご説明させていただきます。会議録ですが、確認用の会議録を作成しましたら、各委員に送らせていただきます。内容を確認いただき、修正等があれば送付文に記載の期日までに事務局へご連絡くださいますようお願いいたします。なお、修正後の会議録は、市役所1階の市制情報コーナーおよびホームページで公開します。

次回の開催日は未定です。地域別小中学校教育環境整備検討協議会の進捗状況に応じて開催しますので、その際は改めてご連絡します。

**○出石委員長**

会議録は、逐語録、要点筆記のどちらですか。

**○飯田教育政策課長（事務局）**

要点筆記です。

委員の皆さまありがとうございました。

以上で、令和4年度第1回横須賀市立小中学校適正配置審議会を終了します。

以上